

海を越えて異文化交流

今まで日本を離れたことがなかった
異国の文化に触れたことがなかった
初の渡豪で生徒たちが得たものとは



1

海外での生活を体験しながら、語学や異文化を学ぶ「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。8月16日から25日までの10日間、広見中3年芝有香さん、井上紘希さん、松本沙知さん、兵頭七海さん、日吉中3年林恒輔さん、上田杏奈さんがオーストラリアのブリスベン市に派遣されました。いずれも海外に行くのは初めてということもあり、期待に胸を弾ませながら出発しました。

生徒たちは、ヒルクレストカレッジで、現地生徒らと英語学習や交流活動などを行いました。またそれぞれがホストファミリーの家にホームステイして、オーストラリアの日常を体験しました。

その他、アルパカ牧場、世界遺産ラムリントン国立公園など、さまざまな観光地を訪れ一日一日充実した日々を送りました。しかし、全てが順調には行かず、文化の違いや言葉の壁にぶつかることもあり、苦労したことも多々あったようです。

そのような、普段経験できないことの連続の生活の中で、生徒たちは何を学んだのでしょうか。またどのようなことを学んだのでしょうか。豊富な経験をして一回り大きく変わった生徒たちに感想を聞きました。

1_研修中、担当として英語を教えてくれたパウ先生と記念撮影
2_オーストラリアの伝統的なお菓子「アンザックビスケット」を現地学生と調理
3_アルパカ牧場にて。その他、木の橋を渡るツリートップウォークなどで観光を楽しんだ
4_ヒルクレストカレッジで英語を習う



4



3



2